

## 基本目標 5

# 自然と調和した 快適で住みよいまち

### 都市基盤

住みよい環境で快適に暮らすことができるよう、多様化する生活スタイルに対応した良質な住環境の形成に向けた取り組みを進めるとともに、生活に欠かすことのできない水道水の安定供給や下水道施設の整備などに努めます。

また、都市機能の基盤となる道路・橋梁の整備や公共交通機関の維持確保に取り組むとともに、憩いの場である公園の整備や適切な緑の保全を図り、豊かな自然と調和した美しい街並みが広がるまちを目指します。

施策 5-1	(道路環境) .....	96
	安全で快適な道路環境が整ったまちづくり	
施策 5-2	(交通環境) .....	98
	利便性に優れた交通環境が整ったまちづくり	
施策 5-3	(住環境) .....	100
	安心して暮らせる住生活を実現できるまちづくり	
施策 5-4	(上下水道) .....	102
	安定した事業運営による安全で安心な水環境を守るまちづくり	
施策 5-5	(快適空間) .....	104
	美しい街並みの広がるまちづくり	

基本目標 5 自然と調和した快適で住みよいまち

施策  
5-1

(道路環境)  
安全で快適な道路環境が整ったまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市内道路の効率的で効果的な施設整備を行い、車両や歩行者の通行を円滑にし、安全で快適な道路環境が整ったまちを目指します。

現状と課題

道路や橋梁は、都市機能の基盤となるものであり、生活や産業を支える機能や防災・公共空間としての機能など、多様な機能を有しているとともに、地域間交流を促進し、地域の活性化にも重要な役割を担っています。

本市の道路網は、広域幹線として南北を縦貫する国道12号及び道央自動車道と道道、市道が結ばれて形成されていることから、道路交通の利便性が高く、幹線道路の交通量は非常に多くなっています。

今後は、生活道路の再整備や補修事業を合わせた効率的で効果的な整備を行うなど、長寿命化に配慮した計画的な事業実施が必要であり、道路状況にあわせた対応も重要となります。

また、街路灯については、老朽化や水銀灯の製造が禁止になることなどから、街路灯のLED化に向けた計画的な整備・更新を進める必要があります。

道路の維持管理については、老朽化した道路・橋梁などの計画的で効率的な補修や修繕を行う必要があります。

除排雪事業については、冬期間の安全で円滑な通行を確保することが重要です。近年、高齢化に伴う市民ニーズの高まりや担い手不足、除雪機械の老朽化による更新などが課題であることから、安定的かつ継続的な除排雪体制を維持していく必要があります。

道路の状況 (平成31年3月31日現在)

区分	路線数	実延長 (m)	舗装延長 (m)	簡易舗装延長 (m)	砂利道延長 (m)
		(全割合)	(実延長に対する割合)	(実延長に対する割合)	(実延長に対する割合)
国 道	1	12,128 (100.0)	12,128 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
道 道	7	29,420 (100.0)	29,420 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
市 道	522	238,702 (100.0)	146,520 (61.4)	11,205 (4.7)	80,977 (33.9)
合 計	530	280,250 (100.0)	188,068 (67.1)	11,205 (4.0)	80,977 (28.9)

(資料：建設部土木課)

橋梁の状況 (平成31年3月31日現在)

区分	橋梁数 (箇所数)			延長 (m)		
	永久・半永久橋	木造橋	計	永久・半永久橋	木造橋	計
国道橋	12	0	12	1,514	0	1,514
道道橋	18	0	18	1,685	0	1,685
市道橋	78	0	78	2,740	0	2,740
合 計	108	0	108	5,939	0	5,939

(資料：建設部土木課)

## 基本事業とねらい

### 基本事業 ① 道路改築事業の推進

歩行者及び車両が安全で円滑に通行できるよう、道路施設の整備を計画的・効率的に推進します。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
道路整備延長 (単位：(延)km)	-	13.3	30.4	計画期間中における道路整備の実施延長

### 基本事業 ② 道路施設の維持・修繕と長寿命化の推進

道路や橋梁を将来的にも維持していくため、計画的な補修・改修による施設の長寿命化を推進し、適切な道路施設の維持管理に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
橋梁長寿命化修繕事業進捗率 (単位：%)	-	50.0	100.0	計画期間中における橋梁長寿命化修繕事業の進捗率

### 基本事業 ③ 冬期間の安全な通行の確保

除排雪などの体制を維持し、冬期間の安全な通行の確保に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
除排雪体制の維持に必要な機械の台数 (単位：台)	86	86	86	砂川市と道路管理協同組合が保有する除排雪機械の台数
早朝除雪延長 (単位：km)	車道 183.1 歩道 51.3	車道 183.1 歩道 51.3	車道 183.1 歩道 51.3	早朝除雪における車道及び歩道の除雪延長

## 関係個別計画

- ・砂川市舗装修繕計画
- ・砂川市橋梁長寿命化修繕計画



市道排雪作業

基本目標 5 自然と調和した快適で住みよいまち

施策  
5-2

(交通環境)

利便性に優れた交通環境が整ったまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

市内外へ円滑に移動するための道路施設の整備や鉄道・バスなどの交通手段を維持、確保することで、交通環境が整ったまちを目指します。

現状と課題

本市は、国道12号及び道央自動車道、JR函館本線が縦貫しており、札幌市や旭川市などの都市間を結ぶ道路網や鉄道、バスといった公共交通機関が整備されています。

国道12号では、中心市街地において国による無電柱化事業が実施されており、災害時には、より安全な通行の確保が期待されます。

市町村間を連絡し国道を補完する重要な幹線である道道砂川奈井江美唄線では、冬期間における安全な通行を確保する道路拡幅・線形改良事業が進められており、早期完成が望まれていることから、関係機関へ事業の促進に向けて要望していく必要があります。

路線バスについては、国道と道道のみを運行しており、市内に多くの交通空白地域が存在していることから、予約型乗合タクシーを運行することで、交通空白地域の改善を図るなど、各交通機関が連携、補完、代替など、役割を担った運行をしています。

高齢者などの移動手段として、鉄道やバスなどの交通機関の担う役割は今後も重要となる一方、人口減少などにより交通機関の利用者は減少しており、一部の路線バスと予約型乗合タクシーには、交通事業者に収支不足の補填や運行経費の補助を行いながら、運行を維持している状況にあります。

今後は、交通事業者や関係機関との連携・協力のもと、運行の効率化や利便性を確保することで、日常生活に欠かすことのできない交通手段を、将来にわたって維持・確保していく必要があります。

また、地域の交通拠点であるJR砂川駅については、設備改善による利便性向上の実現に向け、鉄道事業者への働きかけなどの取り組みを継続していく必要があります。

路線バス及び乗合タクシー利用者数の推移

(単位：人)

区分	平成27年10月 ～平成28年 9月	平成28年10月 ～平成29年 9月	平成29年10月 ～平成30年 9月	平成30年10月 ～令和元年 9月
路 線 バ ス	700,505	671,524	657,056	633,011
乗合タクシー	6,071	8,298	9,540	8,431

(資料：北海道中央バス(株)、市民部市民生活課)

## 基本事業とねらい

### 基本事業

#### ① 広域幹線道路の整備促進

近隣のまちへ迅速かつ快適に移動することができるよう、広域幹線道路の改修・整備を促進します。

注 広域幹線道路の整備は、国や北海道の事業であり、国道や道道の道路整備を要望するものであることから、成果指標は設定しません。

### 基本事業

#### ② 公共交通の利便性の向上と確保

市民生活を支える公共交通の維持確保に取り組むとともに、利用促進に向けた利便性の向上と情報発信に努めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
予約型乗合タクシーの利用者数 (単位：人/年)	8,431	8,531	8,631	砂川市予約型乗合タクシーの年間利用者数(前年10月～当年9月)



乗合タクシー

基本目標 5 自然と調和した快適で住みよいまち

施策  
5-3

(住環境)

安心して暮らせる住生活を実現できるまちづくり

関連するSDGsの目標



目標

多様な住まい方に応じた良質な住環境づくりを促進し、誰もが安全に安心して暮らすことができるまちを目指します。

現状と課題

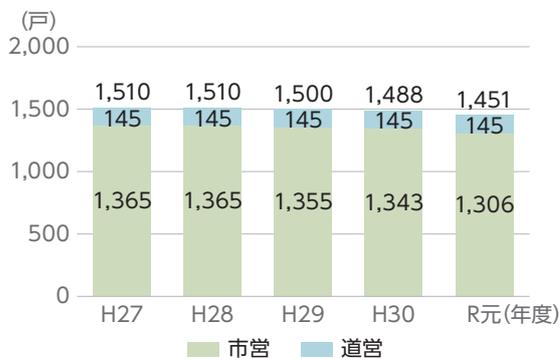
人口減少や少子高齢化に伴い、住まいや住環境を取り巻く状況は変化しており、今後も世帯規模や住まい方に応じた、誰もが安全に安心して暮らすことができる住生活の実現に向けた取り組みが求められています。本市では、空き家が増加しており、空き家発生の予防や流通・活用の促進、管理不全の未然防止・解消など、引き続き総合的な対策の取り組みを進めていく必要があります。

公営住宅については、人口、世帯数の動向、持家や民間の供給状況、住宅需要に応じた適正管理戸数の維持、長寿命化、居住性向上などの個別改善のほか、適切な維持保全など、安全で良質な住宅ストック\*を整備し、長期的に活用するための計画的な取り組みを進めていく必要があります。

民間住宅については、住宅の建設や購入の促進、住宅改修のほか、老朽住宅の除却、高齢者など子育て世帯の住み替えなどを支援し、移住定住の促進と利便性が高いまちなかへの居住を誘導するとともに、安全に安心して住み続けることができる住環境づくりを進めていく必要があります。

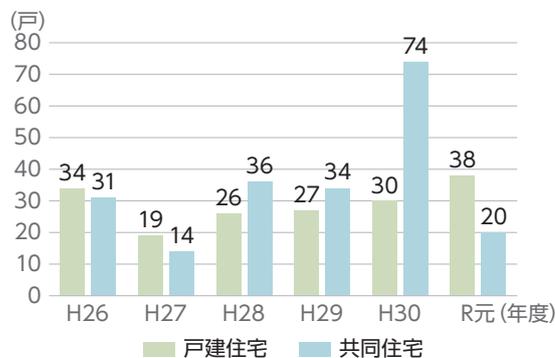
また、移住定住の取り組みを通じ、住宅情報などの提供を充実させ、地域の人々の協力を得ながら定住人口の増加につなげるほか、将来的な移住を見据え、地域に多様な形で関係する人々へ情報発信などの取り組みを進める必要があります。

公営住宅戸数の推移



(資料：建設部建築住宅課)

戸建住宅及び共同住宅の新築戸数の推移



(資料：建設部建築住宅課)

用語解説

\* 住宅ストック……建築されている既存の住宅。総世帯数に対して総住宅ストック数を比較することで、空き家数を判断する指標となる。

## 基本事業とねらい

### 基本事業

#### ① 安全で安心な住環境整備の促進

持ち家の取得やリフォーム、地元企業への支援を行い、誰もが安全に安心して住み続けることができる住環境づくりを促進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
ハートフル住まいる推進事業補助金の利用件数 (単位：件/年)	216	150	150	ハートフル住まいる推進事業補助金の交付件数

### 基本事業

#### ② まちなか居住の促進

安心して便利に暮らすことができるまちなか居住の取り組みを促進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
まちなか居住人口(まちなかに居住する人口割合) (単位：%)	31.3	31.4	31.5	総人口のうち、中心市街地区域(202ha)内に住んでいる人の割合

### 基本事業

#### ③ 公営住宅の良質な住環境の整備

住宅セーフティネットを担う公営住宅の長期的な必要戸数などを踏まえた整備方針を定め、長期的な活用に向けて安全で良質な住宅ストックの整備を計画的に進めます。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
平均入居年数 (単位：年/戸)	13.2	15.0	16.5	入居者の平均入居年数

### 基本事業

#### ④ 円滑な住み替えの推進と移住定住の促進

世帯規模や住まい方の変化などによるニーズに対応するため、高齢者や子育て世帯の円滑な住み替えを推進するほか、移住定住の取り組みを促進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
住み替え支援事業補助金の利用件数 (単位：件/年)	115	87	87	住み替え支援事業補助金の交付件数

### 基本事業

#### ⑤ 空き家の活用・適正管理の推進

誰もが安全に安心して暮らすことができる住環境の保全を図るため、空き家の活用や適正な管理を促し、総合的な空き家対策を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
管理不全な空き家の割合(単位：%)	8.1	3.7	2.7	市内の空き家総数のうち、管理不全な空き家の割合

## 関係個別計画

- ・砂川市住生活基本計画
- ・砂川市公営住宅等長寿命化計画
- ・砂川市空家等対策計画
- ・砂川市高齢者保健福祉計画・砂川市介護保険事業計画

基本目標 5 自然と調和した快適で住みよいまち

施策  
5-4

(上下水道)

安定した事業運営による安全で安心な水環境を守るまちづくり

関連するSDGsの目標



目 標

上下水道は、市民生活に欠かすことのできない都市基盤施設であることから、持続可能な事業運営を図り、安全で安心な水道水の供給や河川などの水質保全に努め、衛生的で快適な生活環境が保たれるまちを目指します。

現状と課題

本市の上水道は、安全で安心な水道水の供給を安定して継続し、今後も持続可能な事業運営を行うため、中空知広域水道企業団の構成市として、健全運営及び経営基盤強化に向けた役割を果たしていく必要があります。また、平成28年（2016年）には北光袋地地区の全戸が西空知広域水道企業団に接続したことで、安全で安心な水道水が安定的に供給されるようになりました。

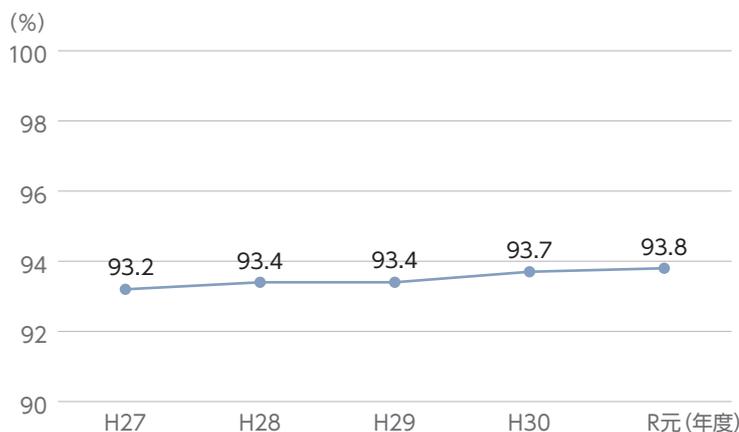
下水道は、市民が快適で衛生的な生活を営むうえで欠かすことのできない都市基盤施設であり、河川の水質保全、良好な水環境の確保、浸水被害を防止する重要な役割を担っています。

本市の下水道普及率は、令和元年（2019年）度で93.8%と高水準で整備されていますが、今後急速に施設の老朽化が進行することが見込まれており、人口減少に伴い使用料収入も減少しています。そのため、経営基盤の強化を図るため、令和元年（2019年）度に公営企業会計へ移行し、経営の健全化に努めています。

下水道施設は、点検・維持・修繕・改築などの施設管理を最適化し、整備事業についても費用対効果を勘案しながら、計画的かつ効率的に事業を実施することにより、持続可能な事業運営及び良質な下水道サービスの継続に努める必要があります。

また、下水道計画区域以外の生活排水などを適正に処理するため、個別排水処理施設整備として合併処理浄化槽<sup>\*</sup>の普及を継続する必要があります。

公共下水道汚水普及率の推移



(資料：建設部土木課)

## 基本事業とねらい

### 基本事業

#### ① 良質な水道水の安定供給の確保

中空知広域水道企業団の健全な事業運営を推進し、安全で安心な水道水の安定した供給に努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
漏水事故による断水発生件数 (単位: 件/年)	1	0.6	0	水道配水管の漏水事故による過去5年間の平均断水発生件数

### 基本事業

#### ② 効率的かつ効果的な汚水・雨水処理の推進

汚水・雨水整備事業は、計画的かつ費用対効果を考慮しながら、道路事業や宅地開発との整合を図り、災害対策に効果的な整備を推進します。また、既存の下水道施設を計画的かつ効率的に維持管理することにより、良質なサービスを継続的に提供できるよう努めます。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
下水道管渠改築累計延長 (単位: m)	520	1,000	1,500	下水道管の改築累計延長

### 基本事業

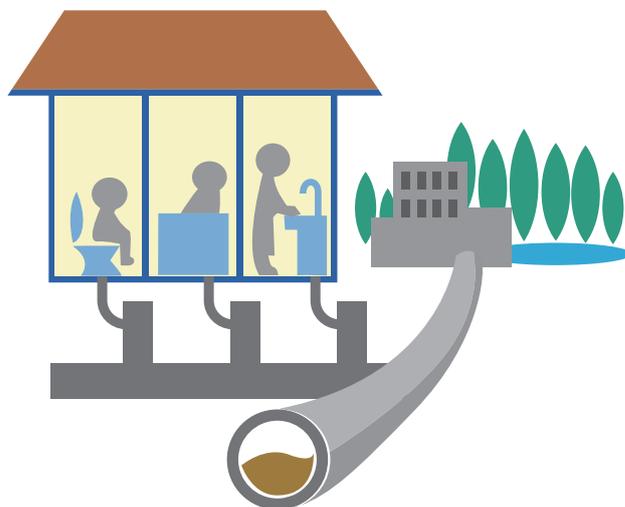
#### ③ 生活排水などの適正処理の促進

水環境の保全と衛生的で快適な生活環境を守るため、生活排水などが適正に処理されるよう、未水洗化世帯の水洗化と合併処理浄化槽の普及を促進します。

指標名	現状値 (R元)	中間目標値 (R7)	最終目標値 (R12)	指標の説明
公共下水道水洗化率 (単位: %)	98.4	98.7	98.9	下水道が利用できる区域のうち、下水道に接続し、水洗化されている市民の割合

## 関係個別計画

- ・中空知広域水道企業団水道事業ビジョン
- ・砂川市流域関連公共下水道事業計画
- ・砂川市一般廃棄物処理基本計画



### 用語解説

※ 合併処理浄化槽……し尿と生活雑排水を併せて処理し、公共下水道以外に放流するための施設。

## 基本目標 5 自然と調和した快適で住みよいまち

施策  
5-5

(快適空間)  
美しい街並みの広がるまちづくり

### 関連するSDGsの目標



### 目 標

豊かな緑と市民が暮らす環境との調和を図るため、市内全体の適切な緑化及び公園施設の長寿命化と適正管理を推進し、美しい街並みの広がるまちを目指します。

### 現状と課題

本市は、『緑あふれる公園都市』として、これまで美しい環境の中でうるおいのある都市形成を目標に公園や緑地の整備が進められており、市民一人あたりの都市公園面積は全国一を誇るまでになっていますが、今後のまちづくりに対応した緑化や公園・緑地などのあり方について検討する時期に来ています。

公園や緑地は、環境保全・レクリエーション・防災・景観構成など、まちづくりにおいて多様な役割を果たしていますが、経年劣化により施設の老朽化が進行していることから、計画的に修繕・整備を実施していく必要があります。オアシスパークは、広域レクリエーションの拠点としてより楽しめる空間とするため、河川管理者の国と連携を図りながら、整備に向けた取り組みを進める必要があります。

まちなかの街路樹及び植樹柵や公園などの緑は適切な維持管理と規模の適正化を図り、引き続き、美しい街並みを形成していく必要があるとともに、市民が暮らす環境との調和のためには、市民との協働のまちづくりの取り組みが不可欠です。そのため、花いっぱい運動などのまちなみの緑化や、町内会による街区公園管理事業などの公園管理を推進していますが、高齢化や参加者の減少などによる担い手不足の課題が年々大きくなっていることから、持続可能な市民参加による緑化活動を推進していく必要があります。

公園・緑地の状況 (令和2年3月31日現在)

区分	箇所数	都市計画 決定面積 (ha)	供用面積 (ha)	都市計画区域人口 1人あたり供用面積 (㎡)
街区公園	16	3.09	3.09	1.93
近隣公園	5	11.10	11.10	6.92
総合公園	1	23.50	23.50	14.64
運動公園	1	15.70	15.70	9.78
緑 地	1	515.30	78.10	48.66
広域公園	1	232.50	232.50	144.86
合 計	25	801.19	363.99	226.79

(資料：建設部土木課)

## 基本事業とねらい

### 基本事業

#### ① 公園施設の整備及び長寿命化と適正管理の推進

公園が有する環境保全・レクリエーション・防災・景観構成の各機能を維持し、地域住民が一層の親しみを感じ快適に利用できる憩いの場とするため、公園施設の整備の実施及び長寿命化と適正管理を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
公園を利用する市民の割合 (単位：%)	30.8	32.3	33.7	市民アンケートで、公園を「よく利用する」・「どちらかといえば利用する」と回答した市民の割合

### 基本事業

#### ② 豊かな緑と美しい街並みの保全

豊かな緑と美しい街並みを保全するため、市民参加による緑化活動を推進します。

指標名	現状値(R元)	中間目標値(R7)	最終目標値(R12)	指標の説明
緑化推進団体数 (単位：件)	57	57	57	砂川市花いっぱい運動参加団体(施設)数及び緑あふれる公園都市推進市民会議、緑の募金参加団体の数

## 関係個別計画

- ・砂川市緑の基本計画
- ・砂川市公園施設長寿命化計画



花いっぱい運動